

フォローアップ項目に対する報告

2022年 3月 8日

九州電力送配電株式会社

- 当社は、「九州をむすび、未来へつなぐ」を目指す姿として掲げ、安定供給の追求、送配電ネットワークの高度化、新たな取組みへのチャレンジに鋭意取り組んでいます。
- また、2021年4月には「九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050」を公表しました。これらを達成するため、電力DXを積極的に推進してまいります。

目指す姿と重点戦略

私たちの目指す姿

九州をむすび、未来へつなぐ

目指す姿の実現に向けた重点戦略

戦略Ⅰ

安定供給の追求

低廉で良質な電気を安定的にお届けし続けることを通じて、お客さまからの信頼向上に努めていきます

戦略Ⅱ

送配電ネットワークの高度化

分散型エネルギーの普及など多様なニーズに対し、最新技術を活用した送配電ネットワークの高度化により、お客さまや社会の期待に応えていきます

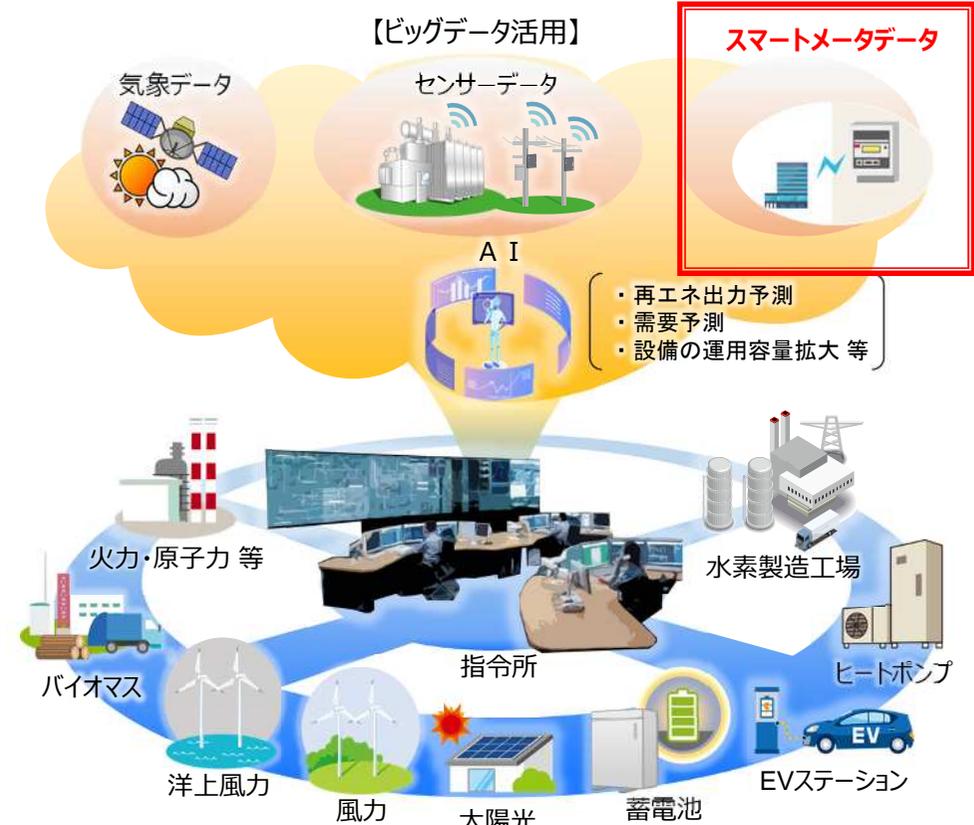
戦略Ⅲ

新たな取組みへのチャレンジ

電化の推進や新たな事業・サービス創出を通じて、お客さまの豊かさ向上に貢献していきます

出典：当社HP「目指す姿と重点戦略」

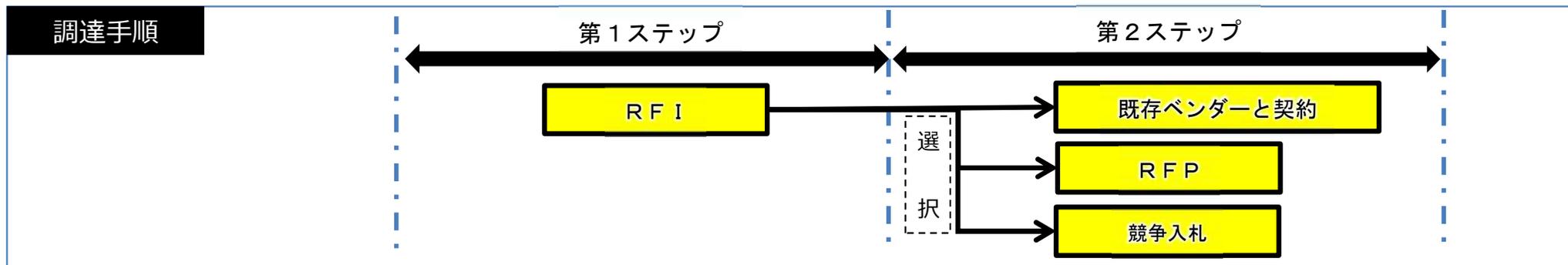
需給運用・系統安定化技術の高度化



出典：当社HP「九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050」

■ RFIの目的

- 次世代スマメの最適構築に向け、実現性・拡張性・経済性の観点で幅広く情報収集を行い、その評価結果から詳細仕様検討を行い調達先を選定する。

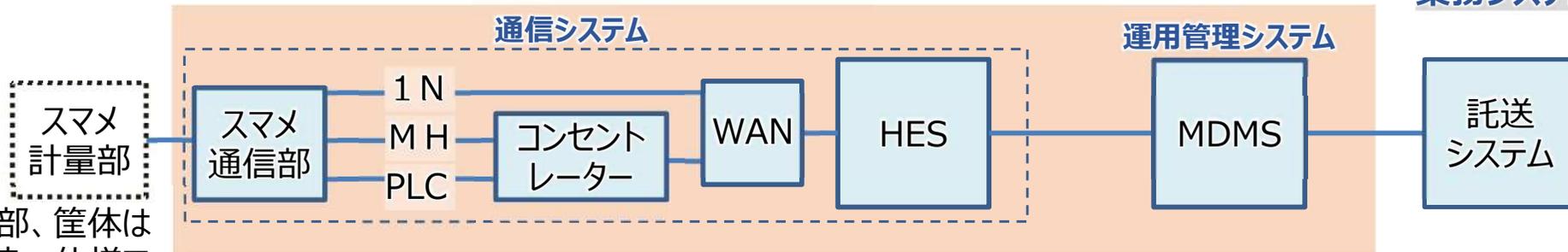


調達ステップ	概要
第1ステップ	次世代スマメシステム実現に向けた技術情報(実現方法)や費用見積もりについて、ベンダー等に情報提供を依頼。(実現性、拡張性、経済性等を評価)
第2ステップ	RFIの結果などを勘案し、「RFP」「競争入札」「既存ベンダーと契約」のいずれかを選択。

■ RFIの実施範囲

RFI実施範囲

業務システム



※計量部、筐体は全国統一仕様であり、一送10社で開発中

- 2022年4月にRFIを発出し、2022年7月までに評価完了予定。
- 調達方法（RFP、競争入札、随意契約）はRFIでの技術情報評価をもとに判断。
- 2023年度から開発開始予定。

年月	2022. 3	2022. 4	2022. 5	2022. 6	2022. 7	2022. 8
RFI		RFI 発出 ▼	ベンダー技術検討		評価	調達方法検討

年度	2021	2022	2023	2024	2025
スマメ関連システム	仕様検討	RFI	調達先選定	開発	
					▼ 運用開始

※上記スケジュールはRFIの結果により変更が生じる可能性あり